

ハナミズキ第1号 令和3年4月30日(金)発行

「春の息吹を感じながら」

宮城県立古川支援学校長 山内 尚



校舎から見える山々は未だ残雪を頂いているものの、例年より桜の咲く時期も早く、古川支援学校にも春の訪れが日々感じられるようになってまいりました。

あらためまして今年度4月より本校に着任いたしました校長の山内尚(やまうち たかし)と申します。また、27名の教職員も新たに加わりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校では4月8日に入学式を行い、小学部18名、中学部11名、高等部19名の児童生徒を迎え、新たな年をスタートいたしました。新入生は、入学式では緊張した表情ながらも、これからの学校生活への期待を感じる姿が見られました。

昨年度は新型コロナウイルス感染防止のために、3月から全国一斉休校となり、6月からの学校再開となりましたが、今年度は例年どおり4月から子どもたちを迎えて学校生活を始められることを大変うれしく思います。春は木々が芽吹くなど、生命のエネルギーを感じられる季節です。4月のこの時期に新年度をスタートすることは、子どもたちの1年間の学校生活にとって、あらためて大切なことと実感しております。

なお、新型コロナウイルスへの対応は、予断を許さない状況です。引き続き感染防止の対策を徹底してまいります。今年度も児童生徒の安全を確保するために教育活動の変更が生じる場合もあるかと存じますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。今後も教職員一同、児童生徒一人一人の将来の自立と社会参加に向けて、子どもたちの気持ちに寄り添いながら指導・支援に当たってまいります。

それでは、地域の皆様並びに保護者の皆様におかれましては、今後とも本校教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年度の抱負

小学部は、感染症対策をしながら一堂に集まって転校生の紹介と始業式を行いました。新年度の抱負では、代表の6年A組のI.Rさんが堂々と発表しました。

中学部と高等部は、各学級でオンラインでの校長先生の話の聞いたり、担任の先生の話の聞いたりして、これからの学習に期待感をもちながら新しい学年を迎えました。

小学部6年I.Rさん

「6年生の目標」きょうから6ねんせいです。とけいのべんきょうがんばりたいです。そうじもがんばります。

ご入学おめでとうございます！

令和3年度の入学式は4月8日の午後より、コロナ感染予防対策として、小・中学部と高等部を分けて2部構成で行いました。

新入生の皆さんは、これから始まる新しい生活に期待と緊張感をもちながら、立派に参加しました。